

2026 年度 9 月 理事会 議事録

日時：2026 年 9 月 12 日（土）13：10～16：44

開催方式：対面

開催場所：神奈川県藤沢市藤沢 607-1 藤沢商工会議所 5 階 503 会議室

出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、奥原孝幸（副会長）、遠藤陵晃（副会長）、望月強併（事務局長）、玖島弘規、神田崇央、佐々木秀一、村仲隼一郎、神保洋平、佐藤隼、青木啓一郎、石川恵美子

出席監事：錠内広之、野々垣睦美

欠席理事：佐藤範明、佐伯まどか、澤口勇、野本義則、山勢健太郎

I. 会長より挨拶

本日は今期中間評価を中心に行います。上半期の振り返りを行い、下半期、次年度へ繋げていけるようにしたいと思います。よろしくお願い致します。

II. トピックス

1. よんばち報告

2026 年 9 月 4 日、5 日によんばちが開催された。トピックスとしては 2040 年を見据えた作業療法提供体制の在り方についての提言がされている。またこどもに対する作業療法も紹介され、米国では学校に作業療法士が配置されている。日本においても徐々に学校に作業療法士が入っていき、学校作業療法モデルを示していきたいとの話がされた。司法領域の作業療法についても話題があがり、OT 協会としてもどのような形で関わり、推進していくか模索している状況。

その他、組織率向上に向けて、OT 協会と 47 都道府県が共通の課題として取り組みを行なっている。

III. 審議事項

1. 次期（2028 年度）神奈川県臨床作業療法大会長選出について（学術部）

次期神奈川県臨床作業療法大会長を昭和医科大学の渡部喬之氏に打診し内諾を得た。理事会において承認をお願いしたい。

→賛成多数で承認。

2. 神奈川県作業療法学会・臨床作業療法大会の統一について（学術部）

現在、県士会が隔年で開催している「神奈川県作業療法学会」と「神奈川県臨床作業療法大会」を、今後「神奈川県作業療法学会」に統一する。臨床大会が担ってきた臨床実践に近い企画、若手・初学者が参加・発表しやすい機能は、統一後の県学会の企画・発表枠として継承する。統一後の基本運営準備金は 250 万円を基本とし、開催規模・会場・形式等により不足が見込まれる場合は、積算根拠を示して追加予算を申請できる運用としたい。

（質疑応答）

Q.元々の臨床大会と作業療法学会の違いは何か。

A.若手を中心に発表する機会を確保する目的で臨床大会が創設された。また毎年、学会開催となることで予算の増大や運営スタッフの負担も大きくなるため、簡略的に開催できるようにした。

Q.250 万円の事業費で開催できるのか。

A.過去の事業費で考えると 250 万円で対応できる可能性がある。しかし会場費や学会運営費(システム費)を考慮すると 250 万円を超える可能性があるため、追加予算が申請できる運用で提案している。

作業療法学会と臨床大会の統一について審議。承認された際は次期臨床大会から学会へ変更する。

→賛成多数で承認。

3. 共催・協賛・後援に関する規程の修正について（規約部）

後援を受ける際の規程について以下のように追記、修正した。

（共催、協賛及び後援を受ける場合の認可基準）

第 6 条 本会が実施する事業について、他団体から共催、協賛又は後援を受ける場合は、当該団体との連携が

本会の目的及び事業に照らして適当であり、本会の公益性、公平性、中立性及び社会的信用を損なうおそれがないことを基準として、その承認を個別に判断する。

2 共催、協賛又は後援に伴い、相手方に一定の広告・広報上の利益が生じる場合であっても、本会及び会員が得られる利益、本会の公益性、公平性、中立性及び社会的信用への影響等を総合的に勘案し、その可否を判断する。

→賛成多数で承認。

4. かながわ JRAT 事務局との窓口について（遠藤副会長）

制度対策部担当理事の佐藤範明理事を担当として提案したい。

→賛成多数で承認。

5. 教育部臨床実習指導者研修会アドバンスについて（教育部）

参加費について集客を考慮し、県士会員：4,000 円、他士会員：6,000 円、非会員：8,000 円で提案したい。

また開催方法を当初オンラインとしていたが、研修内容を鑑み、対面開催に変更したく審議をお願いしたい。

→参加費の変更及び開催方法の変更について、賛成多数で承認。

6. 部員承認について（事務局）

学会支援課 1 名の部員承認

→賛成多数で承認。

IV. 報告事項（各部署・理事・三役）

1. 事務局員時給変更について（事務局）

2026 年 10 月から神奈川県最低賃金が改定となる。それに伴い、事務局員の時給が変更される。

2. 2026 年度研究助成事業受給者決定について（学術部）

研究Ⅰ：神保洋平先生（茅ヶ崎中央病院）

研究題名：作業に基づくキャリア開発支援ツールの信頼性および妥当性の検証

助成金額：191,100 円

研究Ⅱ：落合俊太先生（湘南慶育病院）

研究題名：TraceCoder®を用いた上肢協調運動における定量的指標の確立：健常基準データの作成と

脳卒中患者における信頼性・妥当性の検討

3. 新入会員オリエンテーション開催について（神保会長）

2026 年 11 月 2 日(月)19：30～20：30 で新入会員オリエンテーションをオンラインで開催する。

当日は小砂大会長、木下学会長に参加して頂き、講演を依頼している。また理事の方々にも参加して頂きたい。

【その他報告部署・理事】

なし

V. 中間評価

1. 事務局

事務局事業は概ね遂行できている。会員管理システムを導入し、会員の半数が登録している状況。残りの半数についても登録してもらえよう広報を行なっていく。会員班については、会員増加に向けた事業を進められるよう各部署と連携を図っていく。特に各養成校の窓口となる先生との繋がりを持ち、学生への広報がしやすい環境を整備していく。

2. 財務部

財務部事業は概ね遂行できている。新規の取り組みとして助成金申請について理事会で承認を得た。今後、事務局員とも連携し、会計システムについて検討を行なっていく。

3. 規約部

事業は概ね遂行できている。定款や規程を変更した際はその都度、共有している。

4. 福利部

新入会員オリエンテーションについては下半期の実施で調整している。臨床大会での県士会ブース出展についても検討を行なっている状況。倫理委員会の設置や表彰関連、子育て・介護時対応についても下半期に取り組めるよう進めていく。

5. 広報部

広報関連については滞りなく遂行できている。上半期においてはウェブサイトリニューアルを決定し、業者との打ち合わせを進めている状況。対外広報はその都度、事業を遂行しているが目的や戦略を持って事業を展開していく。

6. 学術部

学術推進課

概ね事業計画通り遂行できている。スキルアップ研修も予定通り開催されており、講師の許諾が得られた研修会においてはオンデマンド配信を行なっている。研究助成については 2026 年度の助成対象が決定。学術誌では投稿論文が増加しており、委員の増員を図り対応している状況。

学会支援課

第 21 回神奈川県作業療法学会及び第 7 回神奈川県臨床作業療法大会の運営サポートを行なっている。運営マニュアルについては適宜更新を行い、円滑な運営ができるよう支援を進めていく。

7. 教育部

教育部現職者研修課・実習指導育成課

現職者研修においてはカリキュラム変更に伴い、参加者数が減少している。下半期は実習指導者講習会やアドバンスコースの開催があるため、準備・運営を進めていく。

MTDLP 育成推進課

MTDLP 基礎研修及び事例検討会について下半期に開催予定。MTDLP 指導者の輩出及び育成において、当課が支援した会員が OT 協会の審査会に合格した(全国で 4 名中 2 名が神奈川県)。MTDLP を行政や養成校で推進する活動においても関係各所と連携を図っていく。

8. 制度対策部

福祉用具班、社会保障制度班、自動車運転班、災害対策事業班の 4 班で活動を行なっている。各班の事業については概ね予定通り遂行できている。

9. 地域社会振興部

地域事業課

地域リハ人材育成研修の開催、横浜市地域リハビリ活動支援事業を進めている。横浜市地域リハビリ活動支援事業においては PT 士会が主となり動いているため、必要に応じて連携・協力を図っていく。

地域リハ課

こども班、精神保健福祉班、認知症対策班、難病リハ班、スポーツ支援班、訪問・通所班が活動している。イベントの参加や研修会の開催に向けて取り組みを行なっている。

10. エリア化

県内 8 エリアに分け、各エリアに担当理事、エリア長を配置した。現在、エリア担当理事及びエリア長に対して説明会を実施している。下半期においては、各エリアでエリアミーティングの開催を依頼している状況。まずは顔の見える関係作りを目指して活動を行なっていく。地域社会振興部との棲み分けや協業については引き続き検討していく。

11. 選挙管理委員会

2026 年度の代議員選挙の振り返りを実施した。下半期では次期役員選挙の実施に向けて選挙ワーキングと連携

を図りながら実施していく。

（意見交換）

・エリア長やエリア部員の取り扱いについて

公文書の発行や会議費等の支弁については今後検討していく。

・県士会ニュース等の広報媒体の作成時間と費用について

AI が発達してきており、広報媒体の作成を AI に移行することで個人の負担を減らすことができるのではない
か。また校正を AI で行うことで校正費を減らすことも可能と考える。

・研修会の開催方法について

実技系の研修や対面で実施する方が効果的な研修については対面開催の方が有効ではないか。

企画側が研修会の目的や効果を鑑みて、開催方法を検討・決定していく。

・事業評価について

OT 協会において事業策定のための事業評価を実施予定。当会においても各理事が県士会事業全体を確認し、4
ヵ年計画や県士会事業と合致しているのかを含めて評価していく。

連絡事項

1. 日本作業療法士連盟 関東甲信越ブロック情報交換会について（神田理事）

連盟は日本作業療法士協会が掲げる政策・要望等を政治の場へ届けることが役割とのこと。

連盟自体の組織体制が不明確であり、神奈川県として連盟を作るかどうかは検討している状況。

まずは情報収集を行い、検討していく。

2. 湘南西部・県西エリアミーティングについて（神田理事）

湘南西部・県西エリアミーティングを開催予定。ぜひ近隣の方へお声かけをお願いしたい。

3. エリア担当理事変更について（遠藤副会長）

湘南東部エリアの担当理事が澤口理事から変更となるため、エリア長も含めて後任を検討する。

VI. 監事より

野々垣監事

対面で開催したことで活発な意見交換がされていたと思います。事業評価についてはやっていることを客観的
に見るということも大切ですのでぜひ実施してください。他部署とも協力して事業を進められるようお願い
します。

錠内監事

組織改編をしてから他部署まで目が行き届いていると感じます。本日の理事会は自部署の活動の振り返りと今
後の計画について検討できたと思います。課題が残る部分については解決できるように進めてください。

学会が隔年開催であった背景には、予算的な理由もありました。会員数が増えた今、毎年の開催に変更してい
くのは良い方向だと思います。連盟の都道府県代表者は各都道府県士会の会長が担っていました。現在は神奈
川県の代表を神田理事に依頼しています。県士会事業とは別の位置付けになりますが必要に応じて支援して頂
ければと思います。

議事録署名人	議長：	神保	武則	印
	理事：	田中	ゆかり	印
	理事：	佐々木	秀一	印
	理事：	神保	洋平	印
	監事：	錠内	広之	印